

2002 年 11 月 5 日

株式会社 富士経済
〒103-0001 東京都中央区日本橋
小伝馬町 2-5 F-Kビル
TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-6093
URL <http://www.fuji-keizai.co.jp>

「要支援・要介護関連市場の最新動向と今後の方向性」調査を発行
- 変化する介護関連ビジネスの市場鳥瞰と今後のアプローチ戦略 -

総合マーケティングビジネスの(株)富士経済(東京都中央区日本橋 原 務社長 03-3664-5811)はこのたび国内のバリアフリー製品・サービス・システムの市場概況、バリアフリーデザインプロセス、開発ポイントを明確にすると共に、参考資料として海外の福祉動向(米、英、仏、独、スウェーデンなど)を解説。さらに、介護関連企業のサービス展開動向を把握することで、今後の事業拡大を達成するためのマーケティングファクターを導く情報を提供する目的でこの調査を実施した。

調査は機器/システム系市場の25品目と、メーカー10社、サービス事業者8社を対象とした。

国内の高齢者人口は、2015年には人口全体の約25%を占めると予想されている。先進諸国に例を見ないスピードによる超高齢化社会の到来である。国や業界でも、法制化やJIS化によるバリアフリーの基準作りへの動きが顕著となってきた。2000年度の高齢者数は2,247万人で全人口の17.2%、2022年には3,334万人(全人口の25.5%)、2001年5月の統計では、要介護認定人口は約262万人(高齢者に占める割合は11.7%)

注目される個別成長市場は

在宅介護の“新しい形態”である**メディカル・ヘルスケア型マンション**

最近の傾向としては施設介護を希望する人が多く、ますます顕著になってきている。

しかし特別養護老人ホームや老人保健施設などは入所待ちで溢れ返っており公的介護保険で定義されている介護施設に入所するのは非常に困難になっている。そこで最近登場してきたのが『メディカルヘルスケア型マンション』である。クリニック(内科や循環器科中心)が入居して、居住者全員に医療サービスを提供するのが特徴である。クリニック、病院と連携することで安定した医療サービスを提供するのみならず、介護予防関連サービス、予報医学関連サービスなどの展開も視野に入れている。在宅介護の“新しい形態”であるメディカル・ヘルスケア型マンション市場が本格的に立ち上がる気配を見せており、関連各社とも当該市場にフォーカスした事業戦略にシフトしてきている。

注目される個別品目市場は

福祉自動車 (2010年市場規模予測 1,560億円対 2001年伸長率 210.8%)

車椅子などを利用している障害者の行動範囲を飛躍的に高めたという点で、大いに評価されるものであるが、新たなニーズも増大している。福祉自動車を利用して遠出をしても、車椅子で行く事が出来るトイレや宿泊しやすいホテルや旅館に関する情報が不足している。こうした情報をカーナビを利用して提供するサービスを販売する情報ベンダーの重要性が再認識されている。

高齢者安否確認システム (2010年市場規模予測 17 億円対 2001年伸長率 1093.8%)

居宅内の各所にさまざまなセンサーを設置して状況を推測して安否を確認するシステムで100%本人の身体状況が把握できるわけではないが、給湯ポットなどの利用状況を通じて、遠隔地にいる家族が緩やかに見守るサービスモデルもすでに市場投入されている。

高齢者緊急通報システム (2010年市場規模予測 43億円対 2001年伸長率 149.8%)

近年バージョンアップが求められてきており、居宅内、屋外をシームレスにサポートできる機能が求められる。更に屋外での利用を想定すると位置認識機能などを搭載する必要もある。脈拍、心電などのバイタルデータから身体状況も同時に把握する研究を進めている企業も現れている。

調査の概要

調査期間： 2002年6～10月

調査方法： 弊社専門調査員の対象メーカーおよびサービス事業者などへの直接面接取材・TEL調査

調査対象品目 :全25品目

調査メーカー :10社

調査サービス事業者 :8社

総括・分析編

総括編

市場の発展状況とビジネスアプローチ・要支援・要介護市場3つの視点
集計編

1.品目別市場規模推移分析

メーカーシェア動向

市場ウェイト分析

マルチメディア技術の導入可能性及び機能アップに関する傾向分析

ターゲットユーザーの特性

販売ルート特性及び市場プレゼンテーション

メディカル・ヘルスケアマンションに対する位置付け

参入企業一覧

品目

- 1.電動車椅子
 - 2.電動三輪・四輪車
 - 3.福祉自動車
 - 4.段差解消機
 - 5.ホームエレベーター
 - 6.椅子型階段昇降機
 - 7.歩行器
 - 8.介護浴槽
 - 9.介護用リフト(固定式)
 - 10.介護用リフト(移動式)
 - 11.介護用リフト(天井走行式)
 - 12.介護用リフト(浴室用)
 - 13.介護用トイレ(♿-ダブルトイレ)
 - 14.床擦れ防止マット
 - 15.電動介護ベッド(在宅用)
-

- 16.電動介護ベッド(施設用)
- 17.家庭用自動ドア
- 18.大人用紙オムツ
- 19.自動採尿器
- 20.拡大読書器
- 21.補聴器
- 22.高齢者緊急通報システム
- 23.高齢者安否確認システム
- 24.徘徊老人探索システム
- 25.離床センサー

ケーススタディ編
メーカー

1. INAX
- 2.中央エレベータ工業
- 3.竹虎
- 4.アロン化成
- 5.矢崎化工
- 6.ユニ・チャーム
- 7.アートデータ
- 8.ケアコム
- 9.アクティブスタイル
- 10.アプリカ葛西

サービス事業者

- 1.ベネッセコーポレーション
- 2.フランスベッドメディカルサービス
- 3.パラマウントベッド
- 4.日本ケアサプライ
- 5.ナショナル住宅産業
- 6.やさしい手
- 7.ニチイ学館
- 8.コムスン

資料タイトル:要支援・要介護関連市場の最新動向と今後の方向性

体 裁 :A4判 182ページ

価 格 :105,000円(本体価格100,000円 消費税5,000円)

発 刊 日 :2002年10月11日

調 査 編 集 :大阪マーケティング本部 第2部 ヘルスケアプロジェクトチーム

TEL: 06-6228-2020(代) FAX: 06-6228-2030

発 行 所 : (株)富士経済

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 F・Kビル

TEL 03-3664-5811(代) FAX 03-3661-6093

e-mail:info@fuji-keizai.co.jp

この情報はホームページでもご覧いただけます。URL :<http://www.group.fuji-keizai.co.jp>